

講義名	ホテル事業経営論			
担当教員	高田 宏			
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要

訪日外国人の目標が2019年に3188万人になるなど、観光産業は21世紀のリーディング産業といわれるまでになりました。しかし、新型コロナウイルスの影響で大きな変革期を迎えています。2020年の観光産業は大きな打撃を受け、2021年も同様に厳しい状態が続くものと思えます。しかしウケンが普及すれば、また復興していくことは間違いありません。その中で、ホテルを理解するためには、「ホスピタリティ・サービス」の側面に加え「ビジネス」としての知識・理解が必要になってきます。この授業では、最初にホテルとはどのような歴史があり、現状がどのようなものになっているのかを、次に主要部門の運営方法と重要な指標についての講義を行います。運営面での理解の後に、ホテルビジネスがどのようなものであるのか、どのような手法で管理しているのかという基礎知識の習得を図ります。

下記「到達目標」には記載せず評価対象とはしませんが、冬季(2021年2月)開催予定の集中講義「観光人材育成プログラム」に参加するための基礎学力を身に付けることも目標にあります。

到達目標

到達目標は以下の通りです。
 ホテルがどのような運営を行っているか、どのような仕事をしているかを理解できるようになる
 ホテル経営における重要な経営指標について初歩的な理解ができるようになる
 ホテル産業の現状とトレンドを理解できるようになる

提出課題

- ・ホテルの仕事、会計についての予習課題を複数回求めます。(詳細内容は授業で公表)
- ・講義時間内に随時小試験の実施やレポートの提出を求めます。(詳細内容は授業で公表)

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック

提出されたレポート等での疑問点や全員で共有すべき項目については後の授業内で公表します。

評価の基準

・授業内で出す課題への回答、授業態度などの平常点	60点	
・学期末試験		40点

履修にあたっての注意・助言他

授業を受けるということは、他の生徒への思いやり(ホスピタリティ精神)が必要です。CSについて学ぶ学生にとっては必須です。授業の妨げになる他者との会話、スマホ等の使用、帽子・フードを被ったままでの授業参加などは不可。注意されなくても記録され減点の対象になります。

教科書

.使用しない。				

プリント資料及び参考文献

- ・原則として授業は配布プリントで行います。
- (参考文献)「ホテルビジネスブック」(中央経済社)
- 「ホテル経営教本」(柴田書店)

- 授業計画**
1. ガイダンス
 2. 日本のホテル史
 3. 世界のホテル史とホテルチェーン
 4. ホテル業界の現状とトレンド
 5. ホテルの仕事と事業構造 - 組織図、宿泊
 6. ホテルの仕事と事業構造 - 宿泊(OTA・指標)
 7. ホテルの仕事と事業構造 - 料飲
 8. ホテルの仕事と事業構造 - 宴会
 9. ホテルの仕事と事業構造 - 婚礼
 10. マーケティング部門の仕事
 11. 管理部門の仕事・危機管理
 12. 総務職人の役割・コンプライアンス
 13. ホテル会計の基礎
 14. ホテルビジネスの特徴、部門別損益、GOP
 15. ホテル業界の未来、まとめ

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・予習 各回で指定する次回授業のための課題について調べ要点をまとめておく。(120分)
*複数回、レポートとして提出を求める。
- ・復習 受講した内容についての復習を行う。(120分)
*複数回、レポートとして提出を求める。

ホスピタリティ産業を学ぶ学生は好奇心を持って欲しい。講義で取り上げる課題についてだけでなく、そこから派生する事柄について調べすることも重要です。学生にとっては初めて聴く用語が多いので必ず予習復習をしてください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

到達目標を達成することでDPに貢献できる。ホテル事業について研究することによって、その基礎知識の習得を通し、ホテルをサービス面に加え経営的側面から理解する力をつけ、ホテルだけでなく広く観光・ホスピタリティ産業への就業につながる資質を養い、高い能力を発揮できる人材をつくる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

課題提出はGoogle Forms を使い収集することがある。次回授業でフィードバックまたは個別返信を行う

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
 ・1981年 株式会社ロイヤルホテル入社 (2018年3月 定年退職)
 ・3ホテルの総支配人、ホテル開発部門、マーケティング部門を兼任してきており、その実務経験を活用しホテル運営、経営の基礎理解のための手法を講義する。
 ・併せてホテルに関する知見を活かし最近のホテル業界の状況について解説を行う。

備考

- ・授業によっては、電卓を使った演習を行う。電卓あるいはスマートフォンでの電卓アプリの用意が必要
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの修正が発生する可能性があります